

地域おこし協力隊通信 Vol.2

山口県岩国市地域おこし協力隊
美川地域担当 石原 由美子

夏休みに入り、岩国市内の色々な会場にトンカチ教室のお手伝いに行っています。猛暑の中、どの会場でも小学生達が色々な種類の木工作品を一生懸命製作しています。その姿を見ていると、私が初めてDIYでベッドを作った時のことを思い出しました。

自分が欲しいベッドをインターネットで検索し、自分なりの設計図を何度も書き直しました。木材購入の際にはまだ何も製作を始めていないのにワクワクして、ベッド製作中はあっという間に時間が過ぎました。制作終了後の達成感や、こうすれば良かったと色々考えたことは今でも覚えています。





トンカチ教室で製作する木工作品は、釘と金槌だけで制作出来るように部材を作っています。

最初に部材を一人一人手渡しする時は、子供達は少し緊張しているようにも見えます。



作業が始まると、直ぐに自分の製作に取り掛かる子、周りの様子を伺いながら、慎重に製作を進める子と、各々の性格が出て、微笑ましいです。

最初、釘を真っ直ぐ打ち込むことは子供達には難しく、釘が曲がったり、釘を斜めに打ってしまい、部材から釘の先が出てきて釘を抜かないといけなこともあります。



製作に慣れてくると、自分の木工作品の細部が気になり、思い描いている様に作業を進めている子供もいて、私は「その気持ち分かる！分かる！」と思いながら、手伝いをしています。

制作時間は1～2時間ですが、最初の部材を手渡しした時の少し緊張していた顔から、製作終了後の満足している子供達の顔を見ると、私も嬉しくなります。

